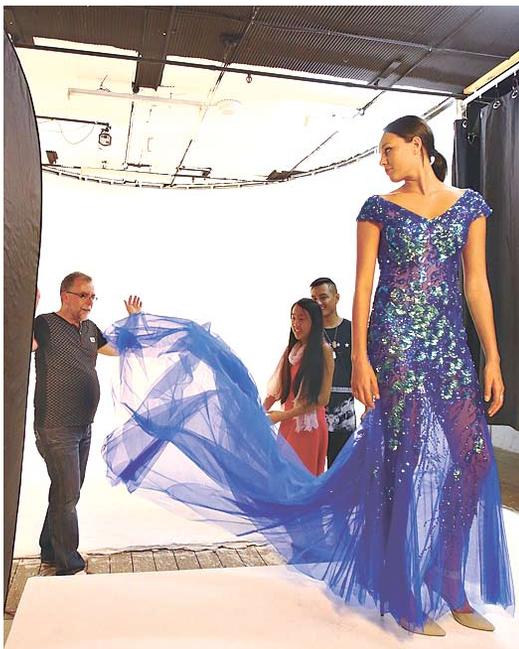


本誌「パースエクスプレス フォトジェニック コンテスト」でもお馴染みの

クリス・ハザード氏 仕事場潜入&インタビュー

『パースエクスプレス フォトジェニック コンテスト』にコメントやアドバイスを寄せてくれているプロ・カメラマン、クリス・ハザード氏。今号で当コンテスト第170回を迎えたことを記念して、同氏の仕事風景となる撮影模様やインタビューを紹介します。

スタジオでの撮影模様を公開 ハザード氏の撮影現場に潜入。写真で一部をご紹介します。



モデルがスタジオに姿を現す。ハザード氏自らモデルにポーズの指導などを行い、撮影アシスタントが補助をする(モデル: Jessica Evans)。



大音量の中、モデルのポーズを褒めながら、撮影はテンポ良く進められていく。

ハザード氏の再三の問い掛けによってモデルに身のこなしのリズムが生まれる。



純白のスタジオの中で一点の華を、レンズを通してハザード氏は何度目も捕らえる。

ハザード氏特別インタビュー

スタジオでの撮影後に、氏にお話を伺いました。

Q: プロ・フォトグラファーとして、どのようなお仕事をされていますか?

A: モデルを中心としたファッション関連の撮影が主となります。オーストラリアだけではなく、タイやインドネシア、最近ではアメリカでの撮影が多くなってきました。

Q: フォトグラファーとして活動するきっかけは?

A: モデルの妹のポートレートを、父のカメラを借りて撮ったのがきっかけです。そのポートレートで妹がコンテストに通り、さらに妹より撮影のリクエストを受けて、この世界に入りました。

Q: 写真を撮り始めてから今までの間に、写真での表現方法に変化はありましたか?

A: 表現方法は常に変化しています。ファッションのようなものです。なので、自分も常に変えて、壊していかないとけません。また、デジタルカメラになってから、コストが掛からなくなってきているので、変化させたり、壊したりすることも簡単にできるようになりました。

Q: 読者にメッセージをお願いします。

A: ルールを破って、新しいことにチャレンジしてみてください。例えば、ビーチで夕日を撮る時、三脚にカメラを据えて、約5秒間シャッターを開けたままにして撮ってみてください。そうすると、いつもと違った写真が撮れると思います。



クリス・ハザード氏
CHRIS HAZZARD

オーストラリアを代表するプロ・フォトグラファー。パースを拠点として国内外問わず、主にファッション性の高い人物を被写体として撮る。本誌の連載に協力して頂く経緯は、ハザード氏の名刺に日本語で名前を入れたいと申し入れがあったことから始まる。



『CHRIS HAZZARD STUDIOS』 www.chrishazzardstudios.com

パース市内に構えるハザード氏のスタジオ。9つあるスタジオの一部をレンタルすることができる。本誌読者へのスペシャルオファーとして、学生に限り、平日は1時間\$12.50(最小2時間〜)で貸し出ししてくれる(通常\$20。ソフトボックスやストロボなどの機材も利用可)。

【ハウスモデル】モデルをお探しの方、週末にモデルのレンタルも可能。詳しくは上記ウェブからお問い合わせください。